

教育長日記 (平成26年3月19日)

青い空に浮かぶ白い雲 54

—東京都教育委員会の児童・生徒の学力向上を図るための調査—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

—調査対象小学5年生—

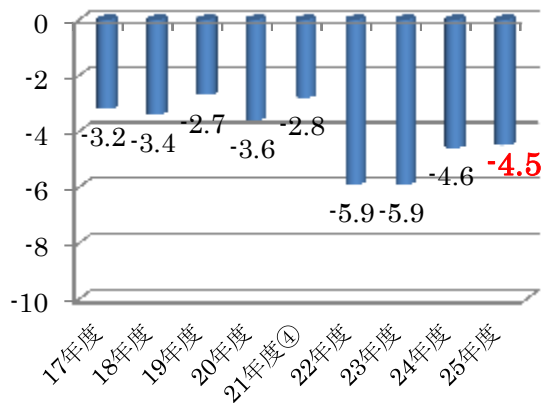
平成26年第一回東大和市議会の最終日、厚生文教委員会所管事務調査報告がありました。

調査事項である小中連携の現状と小中一貫教育の課題については、小中一貫教育の効果が期待される中で「特に学力の向上の問題は、多くの関係者が共有している課題であり、さらに取り組んでいく必要がある」との強い指摘を頂きました。

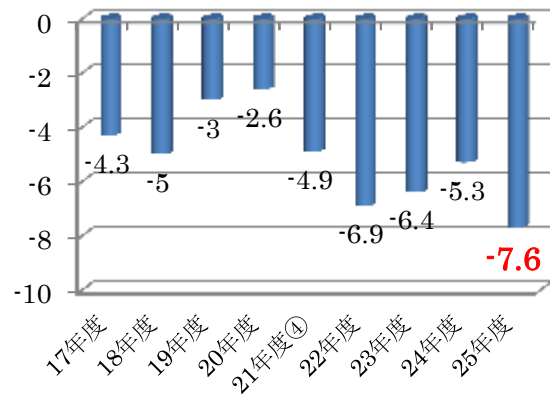
現在、小学校と中学校とは、学力にかかわる調査として、4月実施の**全国調査**（小6と中3を対象）と7月実施の**都調査**（小5と中1を対象）の2度調査を実施しています。全国調査の結果については42号にて報告しましたので、平成25年7月4日に実施した東京都教育委員会の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」について報告します。小学校は5年生を対象として「国語」「算数」「社会」「理科」の4教科で実施しました。

グラフは、東京都と東大和市との教科平均点の差を経年で示したものです。（年度の④の数字は4年生、他は5年生）

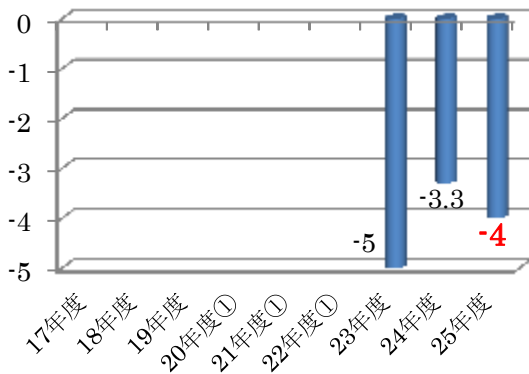
小学校国語 都平均との差4.6 →



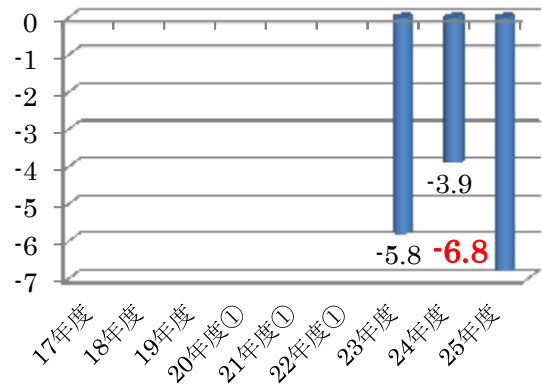
小学校算数 都平均との差7.7 ↓



小学校社会 都平均との差4.0 ↓



小学校理科 都平均との差6.8 ↓



観点別の調査結果から見える課題

- 国語⇒「関心意欲態度」で-1.8差「話す聞く」で-3.3差「書く」で-5.9差「言語」で5.9差「読む」で3.6差。
- 社会⇒「関心意欲態度」で-0.5差「思考判断表現」で-3.9差「技能」で-4.3差「知識理解」で-4.5差。
- 算数⇒「関心意欲態度」で-2.9差「数学的な考え方」で-8.5差「技能」で-9.8差「知識理解」で-6.8差。
- 理科⇒「関心意欲態度」で-6.5差「思考・判断・表現」で-3.9差「技能」で-6.2差「知識理解」で-8差。